

弘前

フランス身近に

25日まで展示会

「ひろさき・ゆかりのフランス展」が18日、弘前市土手町の弘前中三1階で始まった。マーキング（絵入



り)リングを通じた日仏交流を紹介する写真パネル30枚などを展示している。写真。25日まで。

弘前大地域未来創生センターによる「弘前×フランス」週間の一環。昨年10月に弘大生がフランスで津軽塗の制作工程などを説明したプロジェクト学習の成果や、リング箱を並べフランスワインのシャトー（醸造所）なども紹介している。

同週間では市中心街で、フランス映画上映やフラン

ス風の市場イベントも企画。同週間プロジェクト代表の熊野真規子人文社会科学部准教授は「フランスには高級なイメージがあるかもしれないが、多くの人身近に感じてほしい」とPRしている。最終日26日午後6時には、マーキングリングの演出などで国際的に活躍する園芸家パスカル・ガルブ氏らを招き、トークセッションを開く。

(鎌田秀人)

この画像は、当該ページに限って東奥日報の記事利用を許諾したものです。

転載ならびにこのページへのリンクは固くお断りします。